

## 船舶事故等調査報告書

平成21年7月30日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009広第106号	
事故等種類	衝突（岸壁）	
発生日時	平成21年1月14日 09時59分ごろ	
発生場所	広島県呉港中央棧橋 (概位 北緯34°14.4′ 東経132°33.3′)	
事故等調査の経過	平成21年4月10日、本事故の調査を担当する主管調査官（広島事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報		
船種船名、総トン数	旅客船 旭洋丸、696トン	
船舶番号、船舶所有者等	129075、石崎汽船株式会社	
乗組員等に関する情報	船長、四級海技士（航海）	
死傷者等	なし	
損傷	右舷船首及び同舷船首船側の防舷材に凹損等	
事故等の経過	本船は、船長ほか5人が乗り組み、乗客18人、車両11台を載せ、呉港において、船首を北東に向けて南西方向に約80m張り出した中央棧橋に右舷付けで着棧する際、左舷正横から受けた約8m/sの北西風により、風下側の棧橋に圧流され、平成21年1月14日09時59分ごろ、右舷船首及び右舷船首船側外板が同棧橋に衝突した。	
気象・海象	気象：風向 北西、風速 約8m/s	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし あり 本船は、着棧する際、風下側の棧橋との平行距離を適切に保たなかった可能性があると考えられる。 本船は、左舷正横から受けた北西風により圧流された可能性があると考えられる。
原因	本事故は、本船が北西風を左舷正横から受けて着棧する際、棧橋との平行距離を適切に保たなかったため、棧橋に衝突したことにより発生した可能性があると考えられる。	